

自己紹介

昨年12月にVRCの世界に(5ヶ月目)

VRChat初心者、興味がある方のための始めかたNote

♡ 165



たろたた

2024年12月16日 20:25





整理という名の苦行

なぜデジタルツールを使っても
情報は片付かないのか？

人間の脳の整理は物理的な対象物を空間で認知する

決断疲れ (Decision Fatigue)

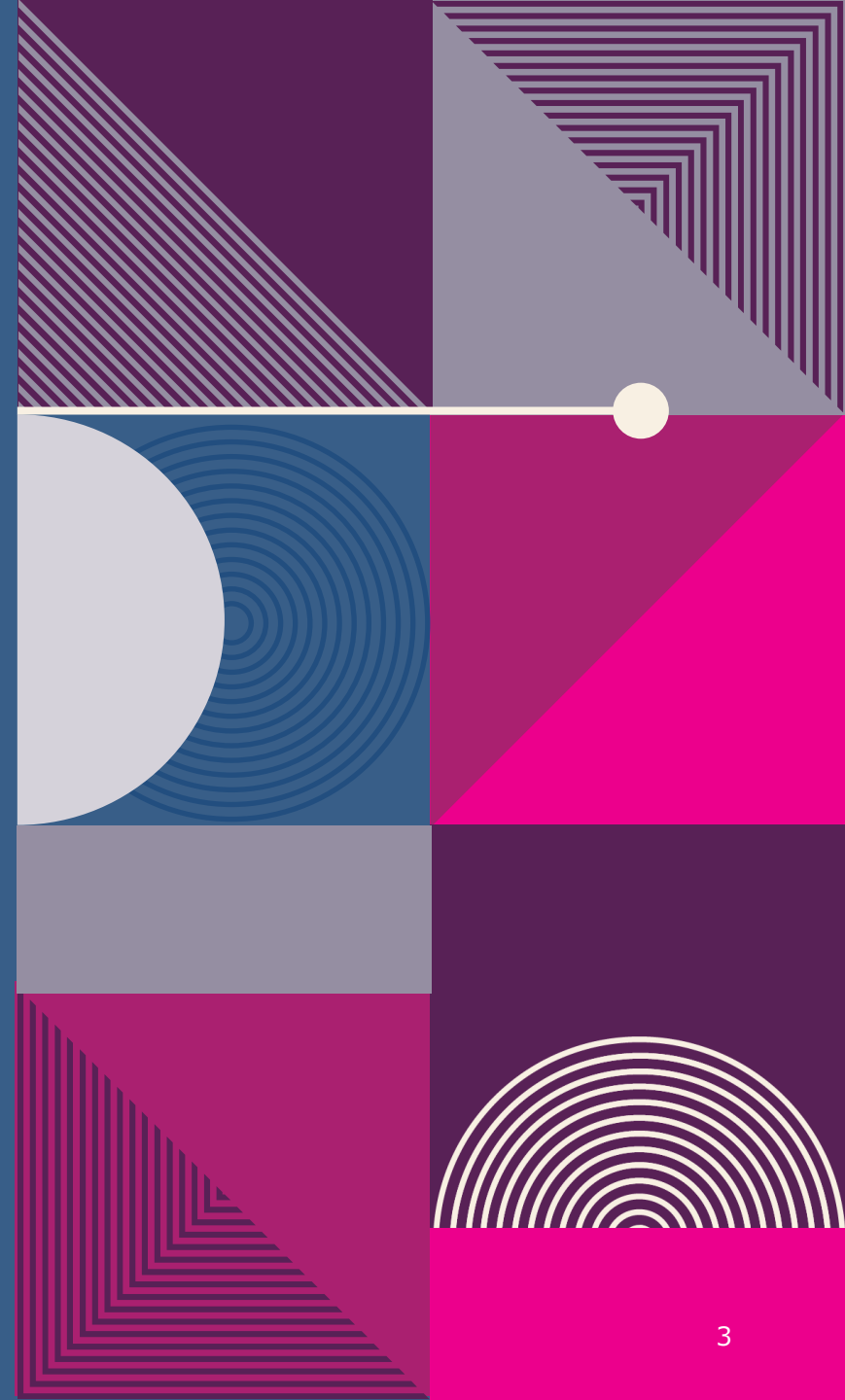
私たちの脳は一日に数多くの決断を下すと疲れてしまい、決断の質が低下する

デジタルホーディング

デジタル保存が半永久な故に、必要かどうか判断せずにデータを際限なく蓄積する行動パターン

脳の進化とのギャップ

人間の脳は物理的な対象物を空間で認知する



デジタル情報特有の本質的な整理の難しさ

デジタル情報整理には、**物理的整理には存在しない独特の認知負荷が伴う**

我々の思考は**線形**ではなく**網状**
情報間の**関係性も多元的**

当然ながら機械よりも人類が
確認するためのデータ群
→**正規化すりゃいいって話でも無い**

分類を細かな粒度にしていくほど
一つ一つの分類のカバー範囲が狭くなる
→**例外やグレーゾーンが無限にかさむ**

人類は「テキトーに覚えとく」をすごく上手くやってる

人間の分類思考には「自然な分類」の傾向がある

自然な分類(natural categorization)とは？

人間が物事を分類する際に、**厳密な論理的階層よりも、日常経験に基づいた直感的なグループ化を好む傾向のこと。**

情報を多元的に扱うのが上手だからこそ出来る芸当

既存のデジタルツールはこれをどうやって解決しようとしているのか？(あるいはなぜ解決できていないのか)

情報整理ツールのトレードオフとはなにか？

シンプルな設計にすると使い勝手が悪い

柔軟で多機能にすると混乱を招く



VS



Dynalist



Obsidian

機能が增えるほどインターフェースが複雑になり、学習コストが高くなる

『整理のためのツール自体を整理・学習する必要がある』

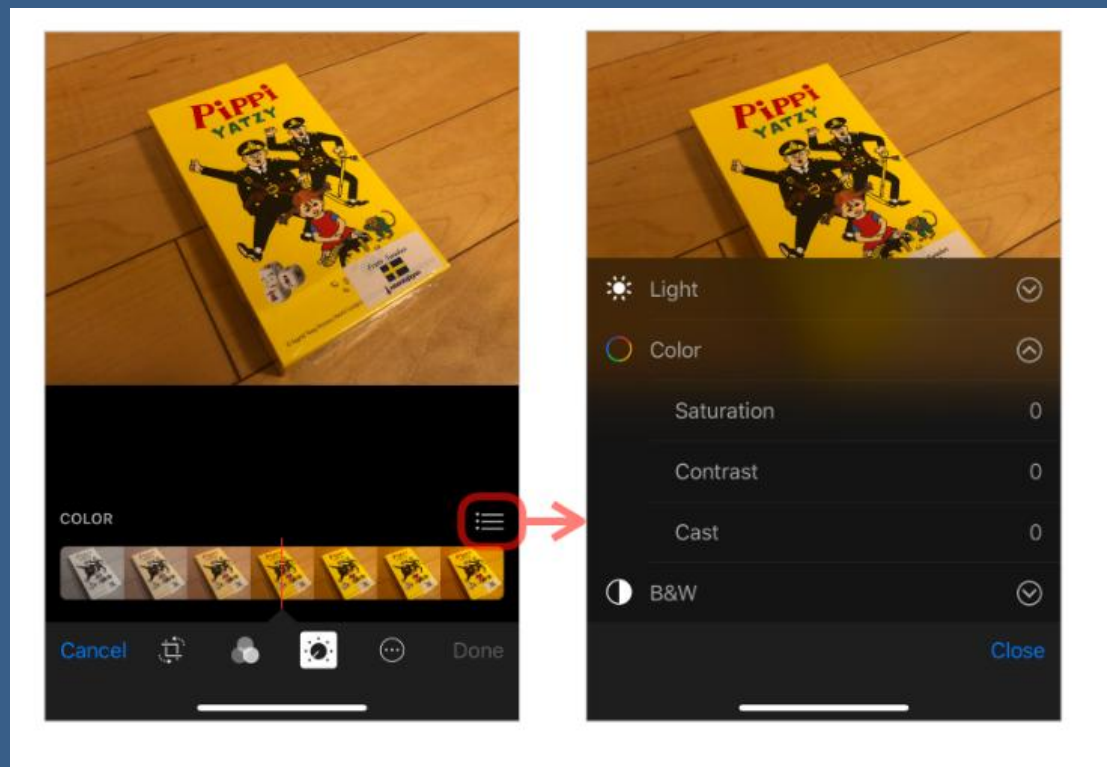
→流石に皮肉が効き過ぎ

情報ツールは往々にして**ユーザーの実際の作業パターンではなく理想的なワークフローを前提に設計されている。**

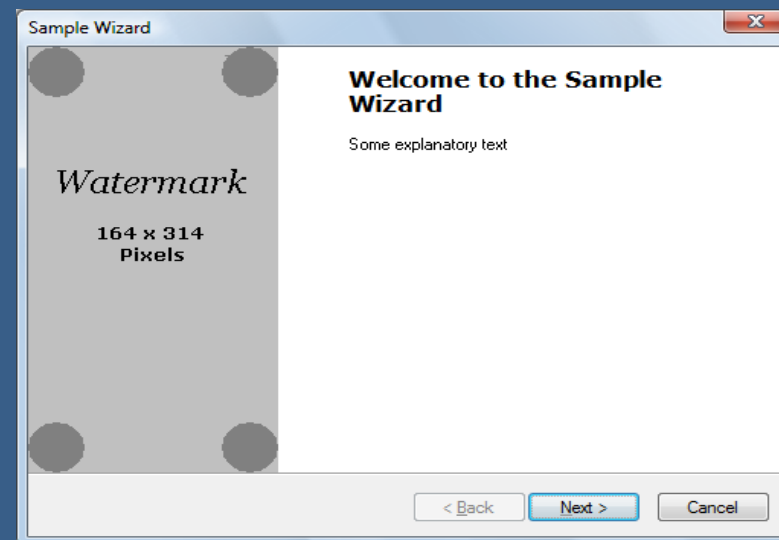
これが現実とのギャップを生み、フラストレーションの原因となる。

このトレードオフを解消できるか？ スイートスポットはどこにあるのか？

プログレッシブディスクローダー



高度な機能や使用頻度の低い機能を2段階目の設定画面に譲り、学習容易性の向上とエラーの軽減を図る。



プログレッシブディスクローダーをデザイン するときに注意しなければならない点

1. 最初の画面に載せる機能と次の画面
に回す機能とをはっきりと二分
しなければならない。
2. 最初の画面から**次の画面へ進むための
方法を分かりやすく**しなければならない。

認知負荷の少ないUI設計

それ名前あったんだのコーナー

202235 |  手入力 → 2022/03/05 

< 2022年3月 >

月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17

カレンダー指定 → 2022/03/05 

< 2022年3月 >

月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17

×

今日



晴れ

明日



くもり時々 晴れ

◎

今日 9/2 (土)



晴れ

明日 9/3 (日)



くもり時々 晴れ

「受け入れるものは寛容に、送信するものは保守的に」
ユーザー目線では「入力は柔軟に、出力は厳格に」

The diagram illustrates the Robustness Principle by showing two ways to input a date into a form field. On the left, a text input field contains '202235'. An arrow labeled '手入力' (Manual Input) points to the resulting date '2022/03/05' in the output field. Below this, a calendar for March 2022 is shown with a hand cursor pointing to the 5th, and an arrow labeled 'カレンダー指定' (Calendar Selection) points to the same date '2022/03/05' in the output field. Both output fields include a calendar icon.

月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17

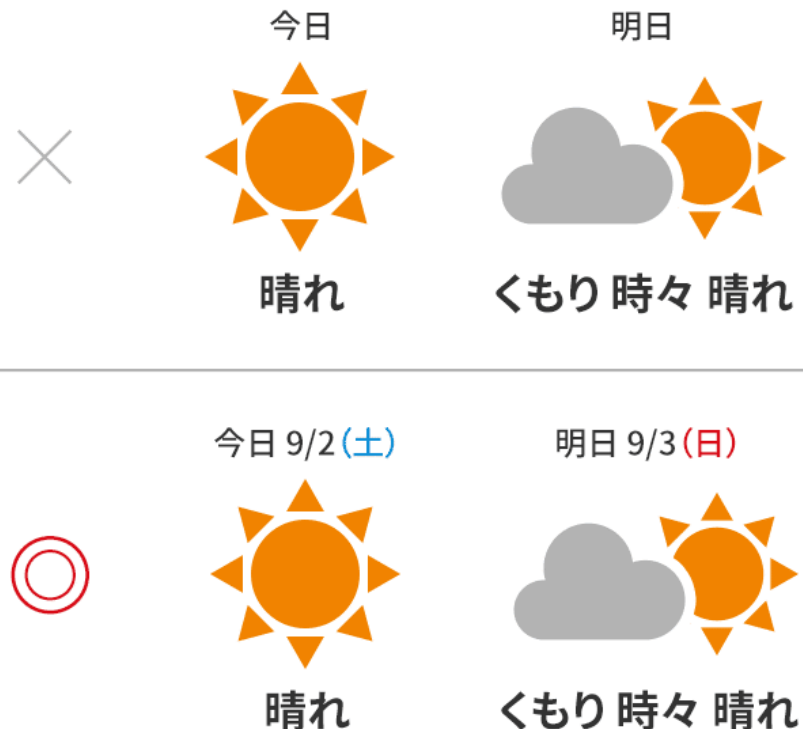
柔軟な入力方法
のいずれでも
YYYY/MM/DD
形式に厳密に設
定される

ロバストネス原則

小さな要素の集合体が表現や定義の曖昧さ、変化の程度によって認識に相違が生まれうること

ソリテス・パラドックス (sorites paradox)

- ・ ユーザーにとって少しずつ変わるUIが、どこから「使いづらくなった」と感じられるかは曖昧
- ・ 1つの改善は小さくても、積み重ねでUXが大きく変化する
- ・ 厳密なラベリングの重要性



『FocusPeak』

音声AIベース統合型学習ツール







課題

✕ 学習のための学習以外のタスクが多すぎる

メモを取るためのタイピング、検索のためにブラウザ起動
暗記カード作成、復習スケジュール調整etc...

生産性 最大40%損失

解決策

✓ 音声AIによる統合学習環境

音声コマンドだけで質問、メモ、タイマー、ノート作成まで一元
統合管理

- 完全音声操作
- 学習効率最大化機能
- 自動ノート・類題作成
- 暗記カードも作成



資格試験勉強、語学学習、ADHD特性にも最適



NIH研究によれば、音声インターフェースを使用した場合、ADHD特性を持つ学習者のタスク完了率が
38%向上、情報保持率が**29%改善**します。

学習の連続性を取り戻す：3つの変革



思考の流れを維持する統合環境

複数ツールの切り替えによる集中力低下を防ぎ、一つの環境ですべての学習活動を完結させます。

研究データ: 複数アプリケーション間を行き来する学習者は、統合環境と比較して23%多くの時間を費やしています。

集中力
最大化



音声インターフェースによる操作摩擦の排除

キーボードやマウス操作による思考の中断を最小限に抑え、自然な対話で学習を継続します。

研究データ: NIH研究によれば、音声ベースのインターフェースを使用した場合、テキストのみの指示と比較してタスク完了率が38%向上し、情報保持率が29%改善します。

思考の流れ
維持

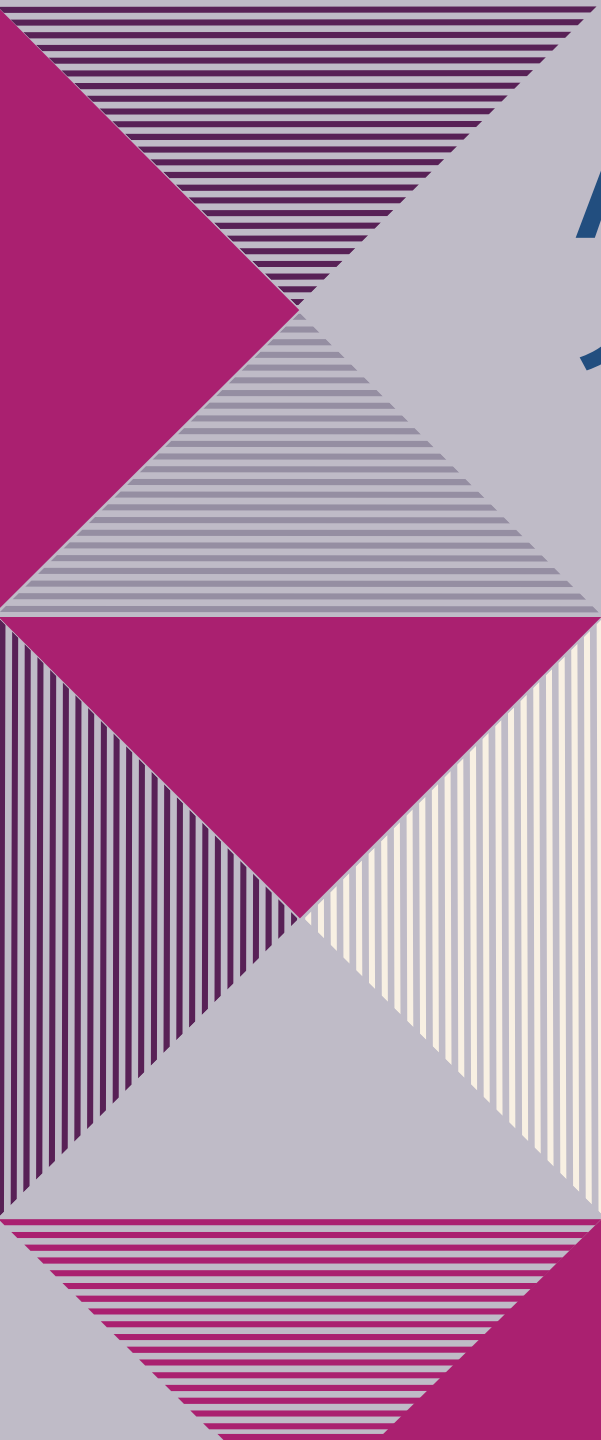


学習コンテキストを維持するAI支援

AIが学習の文脈を記憶し、質問応答から情報整理まで一貫したサポートを提供します。

研究データ: 学習中の文脈切り替えを減らすことで、タスク間の切り替えによる最大40%の生産性損失を防ぎます。

知識の
体系化



AIが進化した世界で 人間の価値の差はどこで生まれるのか？

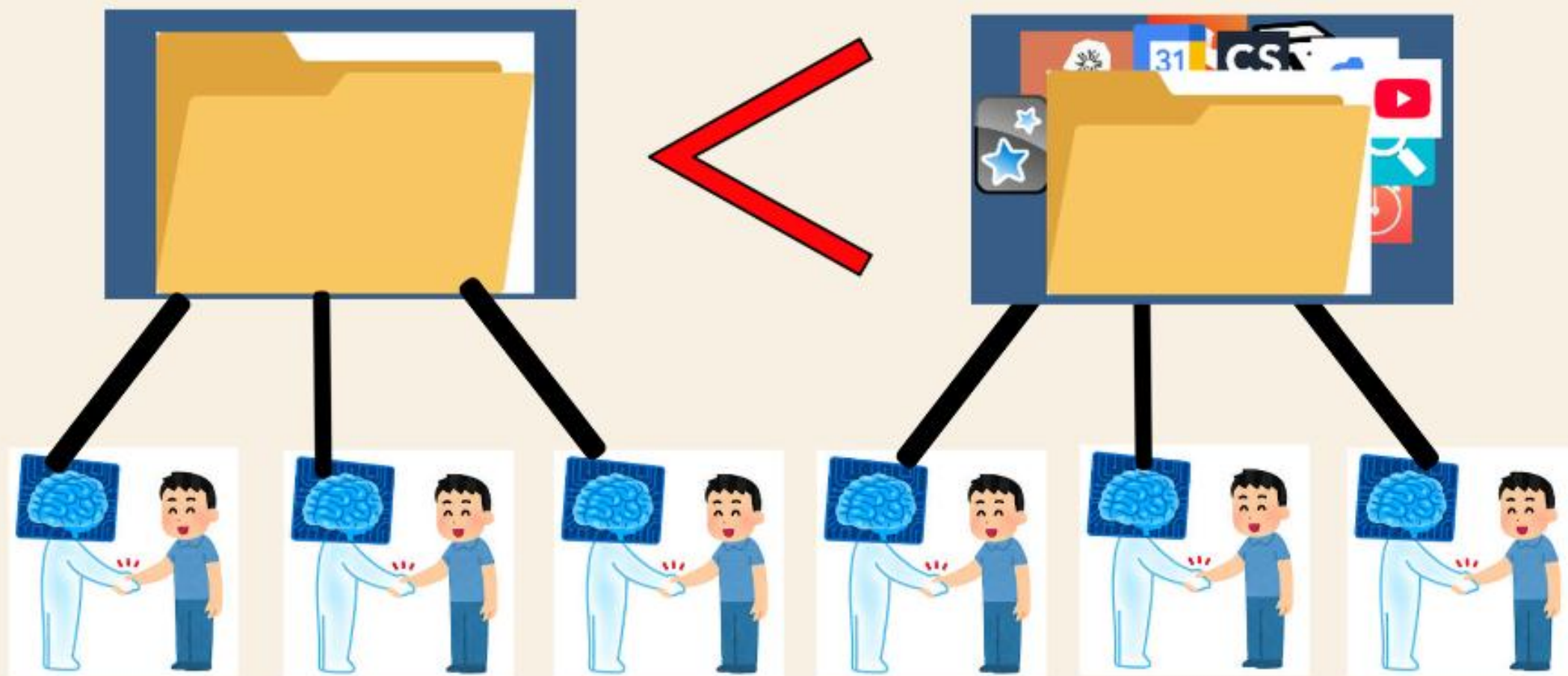
汎用性を超える専門性のための学習

AIの出力した「やるべき事」をちゃんと
実践できるか

AIが当たり前になった世界で 学習効率の差はどこで付く？



AIが当たり前になった世界で 学習効率の差はどこで付く？



学習用UI/UXを追求



ユーザビリティが最重要

汎用性と慣れはユーザーを強固に引き止める



まもなくブロックが変わります

ポストを公開に設定している場合、ブロックしたアカウントはポストを表示できるようになりますが、エンゲージメントを行うことはできません。ポストを表示できるユーザーを制限する必要がある場合は、引き続きアカウントを非公開にできます。

OK